婦人衛生雜誌

大正十一年二月二十八日發行

第三百六十三號

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌

第三百六十三號目次

講演

○理髪(結髪)の衛生　醫學士　古瀬安俊

叢談

○眼球の植替に就て　荘司秋次郎

育兒

○小兒咳嗽時の手當　醫學士　竹内薫兵
○冬の子供

家庭衛生

○凍傷療法
○食事の時に水を飲むの可否
○冬仕度(下)　千木庵

雜報

○乳幼兒取扱講習會
○子福者保護請願
○生活改善協議會
○女教員産前後の休養
○「お産の前後」複製
○運動體育展覽會

會報

○一月例會○新潟の新年祝賀會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

講演

理髪（結髪）の衞生

醫學士　古瀬安俊

本日の御集りに出まして理髪衞生の御話を致すことは私の非常に仕合せと致すところであります。本日此方に罷出ますると一種云ふに言はれない妙な感想が致すのであります。それは今から四五年前まで三四年間續けて此學校に講義を致して居たことがあります。依て自分の古い講義して居た所に今日再び立つたのですから、御集りの大部分を占めて居らるゝ若き女生徒諸君に對しては、恰も元の生徒諸君に逢つて居るやうな感じが致すのであります。其れにもう一つは大學で永い間御世話に預つた先生方の奥様方が今日は御出になつて居られますから、恰度母親の前で話方の試驗を受けるやうな、何だか變な一種異様の感じが先程から致して居ります。

本日の演題は私が特に擇んだ譯ではありません私は久しい以前から全國に亙つて居る理髪業者の大きな會に關係致して居りますから、此處に御出席の庄司さんが其の關係を御覽になつたと見えて、屢屢本會に參つて御話を致すやうにと云ふ御交渉がありました。それで理髪の衞生と云ふのを今日の演題と致したのであります。それから御婦人向きの結髪師の方は、今日の理髪取締規則の上から見ますと、男子の理髪師と同じやうに理髪營業者として取扱はれて居りますけれども、此の兩者は稍趣が異ひます。今日は御婦人方の御集りでありますから、出來るだけ結髪の方をも御話致して見ましよう。併し皆様には男の御子様方や御兄弟もあられる事ですから

男子の參る一般の理髪店の事をも御話申して十分に皆様の御理解を得て置くことが、理髪衛生上都合が宜からうと思ふのであります。凡て文化的生活をして行くには、どうしても女子の理解が先に立つ様でなければ、十分には參りません。私は近時の文化生活の基礎は實に女子の運動がそれを構成して居ると思ひます。此意味から申しましても、社會各般の事業に就て女子が豐富なる知識を持つて居て、其國の堅實なる發達を催進し、又は國民一般が立派なる文化生活をなして行く上に自在に資することが必要であると信じます。斯かる意味から致して理髪衛生の如きに對しても、皆様は決して川向ふの火事のやうに御取扱ひにならない様に希望致します。かう云ふ考を持ちまして、此演題を承諾を致した譯であります。

さて御話に入ります前に、一體理髪業は何時起つたかと云ふことを一寸御話して見ます。西洋の理髪業と云ふのは隨分古いものであります。併しずつと昔は頭髪を剪むとか揃へるとか云ふ様な事はなかつたのであります、專ら髭を剃るのが仕事でありました。此の髭を剃ると云ふ習慣が一番古く出來た國は埃及でありまして、爲めに埃及が剃刀を使つて髭を剃ることの發源地であると申しても差支はありますまい。それから歐羅巴に理髪業が紹介されたのは紀元前二百年、羅馬のパブリウス、ティチニウス、メナスが埃及を征伐に行つた其の歸り途シシリー島から埃及の髭剃人を連れてローマに歸つたのが初まりであります。此の剃髯師はローマで二派に分れまして、一はトンゾーチと稱し、町に開業し、一はトンゾールと稱して貴族に隷屬しました。其の後理髪業は次第に歐洲に廣がりましたが、後には理髪業と外科醫とが混同致す様になりました。外科醫、理髪師及髭剃師の三つが互に手を連ねて居ました、證據と致しては千四百六十一年に英吉利に於て、外科醫及理髪師聯合大會と云ふ催しがありました　つまり此時分には外科醫も理髪師も同じ者であつて、一つ所

に會合して事を相談致して居つたのであります。それからヘンリー八世の千六百四十二年頃になりますと、外科醫と理髮師とは互に分離する傾向が生じて參りました。次で千七百四十五年即ちヂョージ二世の時には、明かに理髮師と外科醫とは區別される樣になりました。故を以て此の時代以前では、外科醫即ち理髮師、理髮師即ち外科醫でありました、故に人が理髮に參りますと、一應身體を診察をして、それから仕事に掛つたものらしく、云はゞ聽診器を持つた理髮師と云ふやうな譯合であります、其證據には今日に於ても色々な事實が殘つて居ります。例之ば理髮店の前にあめんぼうと云ふ棒が立つて居ります。即ち赤と白とのだんだら棒でありますが、彼れは血の出て居るところに繃帶を掛けたことを表示して居ります。つまり外科醫の看板であります。其の看板は今日迄其儘に殘つて理髮師の方に使はれて居る次第です、又赤と青と白の三つの色をだんだらに卷いた棒が店先きに出て居ることもありますが、是は赤が動脈青が靜脈白は即ち繃帶であると說明を致して居りますが、此の說明は少し故事付けたやうに思はれます。又獨逸あたりでは手術の場合に使ひます膿盆を店頭にぶら下げて、理髮師の看板に致して居るのであります。斯の如きは正しく外科醫であつたと云ふ昔を物語つて居ると申さねばなりません。

日本に西洋理髮師が入つて來たのは無論御維新後であります。併しながら維新前には髮結職(床屋)と云ふのがありました。髮結職と云ふのは面白い歴史を有つて居ます、即ち人皇九十代龜山天皇の御宇に藤原基忠と云ふ人が居りました、其の第十一番目の子に北小路左衛門尉元春(或書物には晴基)と云ふのが何か落度があつて、三人の子供を伴れて長門の下關に都落を致しました。所が下關に參つてから大變零落れてしまつて、長男の大藏介が反物商になり、次男の兵庫介は染物屋になりまして、三男の釆女介は髮結職に成つたのであります。士が落魄れて斯う云

ふ仕事を始めたので、店先きには暖簾を掛けました之が店頭に暖簾を掛ける初まりであると申す事です。此釆女介から十七代の孫に當る松岡藤七郎と云ふのがありまして、流れ〳〵て美濃國に住居致して居りました。其時分には世の中は麻の如く亂れ、英雄各地に割據して諸處に戰がありました。彼の德川家康が武田と戈を交へて三方原に戰ひましたのは元龜三年十月であります。此戰で家康は散々に敗北致し、主從纔に身を以て遁れ、天龍川の川岸まで逃げて參りました、所が連日の豪雨の爲めに川水が激增して渡ることが出來ません、後の方には敵が追ひ詰めて來ると云ふので主從諸共討死と覺悟を定めました其の時に、恰度釆女介十七代の孫松岡藤七郎なるものが其の場へ出て參りました。此の男は久しく天龍川の附近に住つて居ました爲めに、川の淺瀨をよく知つて居ますので、自ら瀨踏みをして家康主從を渡して逃してやりました。此の功に依つて笄一對と銀一錢を貰つて家康に隨身することになりました。それで以前は床屋のことを一錢職とも稱へたのであります。次で慶長八年に家康が幕府を江戶に開きました時、此藤七郎も江戶へ參りまして、芝園橋の邊に初めて暖簾を掛けて結髮を始めました、是が江戶に初めての床屋であります。其後此の流れを酌んだのが澤山出來、全國に擴がつて幕末に推移したのであります。

一體理髮師は日本だけでなく歐羅巴でも御喋り屋が多いと見えます。昔は暇人が能く集つて、鳴物なんかを入れて騷々しく喋り合つて居ました樣子は「浮世床」と云ふ本を見ますと、如何に床屋が御喋りの場處に使はれて居つたかゞ分ります。西洋では「アラビアンナイト」を見ましてもフイデオと云ふ理髮師は非常に御喋りである樣に書いてあります。日本許りでなく矢張西洋でも御喋りの理髮師は餘程多かつたものと見えます。

話は大分横道に入りましたが、先づ維新前まで全國に廣がつて居りました床屋が、維新と同時に今の

理髪業者に變つたのであります。此變つた頃合のことを考へて見ますと、所謂理髪業界の先覺者なるものが其中に數人居りました。即ち小倉虎吉、原德之助、竹原五郎吉なぞの連中が、西洋人が髮を切つて居る樣子を見まして、行く〳〵日本もあゝなるだらうと云ふので、竊に西洋の船に出入しては技術を習つたのであります。さうして時の來るのを待つて居ました。所が王政維新になつたので、小倉虎吉が先づ明治二年に横濱居留地支那屋敷で開業して、横濱縣廳から初めて免許狀を受けました、是が日本に於ける今日の理髪業の初めであります。つまり明治二年にあめんばうが建つたのであります。次で明治四年には、加藤虎吉と云ふのが竹原五郎吉を横濱から雇つて來て東京に店を出しました、之が東京に於ける理髪店の開山であります。斯くの如くして這入つて參りました、今日の理髪業と云ふものは、散髪令が出ました爲めに、瞬く中に全國に擴がりました、從來の床屋は忽ちに轉業したのであります。故を以て他の學問藝術が明治の初めに我が國に這入つたのと理髪業が這入つたのとは稍々趣が違ひます。即ち他の學問藝術の樣に筋道を蹈んで這入つたのではなく、多くは從來の床屋が俄に理髪業に變つたのでありますから、技術上の事も學術上の事も、大分劣等な所が澤山ありました。併し其の後此の業界中には幾多の努力者が出まして、彼等業者の啓發に努めましたから、追々に優秀なる理髪師も出來て參りました。今日では一部の理髪業者は美術家であると云ふやうな誇の下で仕事を致して居りますので、行く〳〵は此業も一般的に向上して、根本的に學問的になつて、技術上にも更に數段の進歩發展を致すことゝ思ひます。

次に序でありますから、此處に掲げました女の髷の繪を御紹介しやうと思ひます。女の髮は今でこそ皆樣は色々に結つて居られますが、上古の日本の女は、髮を結んでは居りません。長い髮を頭の上に一つに束ねて、さうして其餘りを後へ垂れて居ました

さうしてそれに蔓を巻付けて飾として居ました。奈良朝時代になりますと振分髪の伸びて肩を越す時分に之を「髫放」と云つたさうであります。此時分より稍ゝ髪を結ぶと云ふ風が出來て參つたものらしいのであります。何となれば天武天皇十一年には詔りが出て居ります、それには「自今男女悉く結髪」とあります。併ながら永い間の習慣と云ふものは容易に改まるものではなく、爲めに再び十三年に詔が出まして「男も女も四十歳以上の者は結ぶも結ばないも勝手である」とありますのを見ましても、却々永い間の風俗を改めることの困難であると云ふことが分ります。それから朱雀天皇の元年に再び詔が出て、髪を結べとあります。是も久しく命令が行はれなかつたさうであります。平安朝時代になりますと、女は總て垂髪であります。其後延喜式の中に書いてあるものを見ますと、内親王であるとか内命婦であるとか云ふ人は、禮服を著けた時には寶髻に結ぶと書いてあります。是が髻の初まりであらうと申されて居ります。依て平安朝時代から髻と云ふものが出掛つたと御承知になれば宜しいのであります。併し一般の人は斯う云ふ譯に參りません、特殊の地位の女のみが寶髻に結つたのでありまして、普通の者は矢張髪を長く後ろに垂れて居ることを誇にして居つたらしいのであります。唯極く卑賤の者だけが、餘り髪を長く垂れて居ると仕事に不便でありますから、頭に卷付け或は耳に挾んだそふです。然かしどう云ふ風に耳に挾んだかは知りませぬ。又武家の時代にも矢張垂髪は尙ばれまして、髪の短い人は髢を使つて長くしました、そして夜臥します時は其髢だけは枕頭に亂箱を置いて其中に入れます

寶髻（前）

寶髻（後）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

か、或は屏風に掛けて置きました。又外を歩きます場合には女中が亂箱を持つて髮毛を入れて後ろから御伴をしました。依て髮毛の長いのを尙んだものと見えます。唯下々の者で不便を感た者だけが右の肩の所に束ねて居ました。是が卽ち肩はづしと云ふやうな形が出來て來る本であらうと申すのであります。

又武家時代に第二の繪にあります「つのぶる」と云ふのがありました、髮を卷きつけて額際には鉢卷をしたのです。能く昔の繪を御覽になりますと、髮を結つて鉢卷をして居る女があります。武家時代の髮の結び方が先づ大體此繪に描いたやうに「つのぶる」と云ふものに結んだものであります。

つのぶる

それから德川時代になりましても、寬永の時代までは、餘り女の髮は贅澤なものでなく極く質朴でありました。上流の女は髮を深そぎにして長く後ろに引いて居ります。そして髮毛は打掛けの中に入れてました。所が一般の者は前の髮を綺麗に揃へてさうして前だけを剪まして後ろは束ねて垂れて居ます。蓋し束ねて置くと云ふやうな場合でも決して髱であるとか鬢と云ふやうなものを今のやうな具合に引張出すことはやつて居りません。それから慶安時代になつて鬢付油と云ふのが紹介されたのであります。此の鬢付油が出來ましてから女の髷と云ふものが色々精巧なものが出來る樣になりました。鬢付油で固めなければ女の髮は却〻旨くいかないものです。鬢付油が出來てから髷の形が色々變つて參りました。それ故天正の時代になりますと、元一寸流行りかけて居ました唐輪髷と云ふものが追々變化をして、慶長の末か

兵庫髷

ら兵庫髷といふのが出て來ました。兵庫髷は形が良い爲めに一般に喜ばれましたが、特に遊女の間に流行しましたので、却て世の中一般の流行を妨げたさうであります。次に貞享時代に笄髷といふのが出來たのであります。笄に束ねて卷いたもので、髷が四つ出て居る樣に見えます、一寸今の髪と形が違ひますのは耳の上のところに小さい突起が出て居ります

笄髷

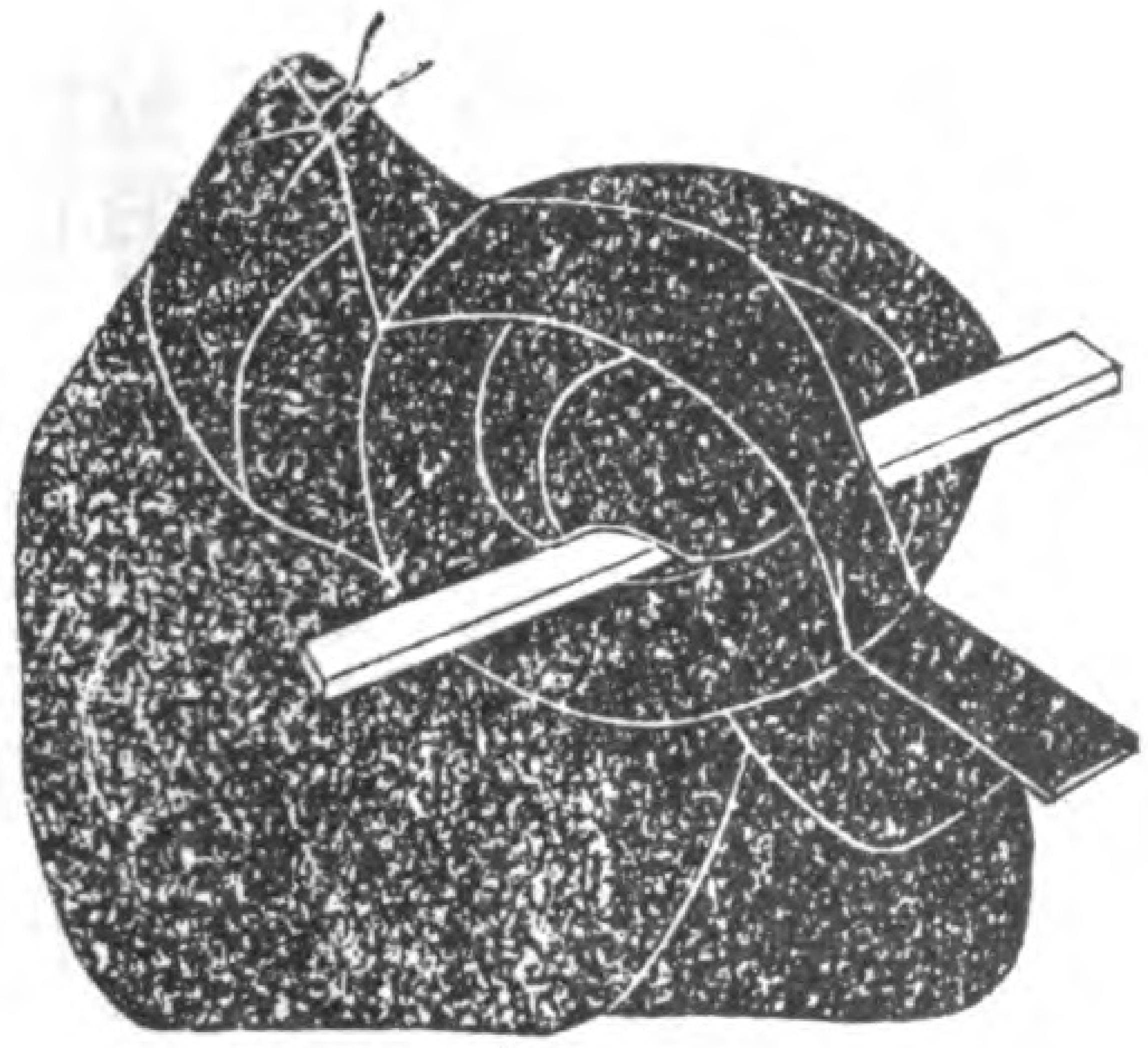
それから笄髷は色々變つて「さげ下地」であるとか「ふきや」であるとか、「らはずし」であるとか、御所髷と云ふ樣に追々出來たのでありますす

御所髷

元祿時代には島田が流行して居ります。それから勝山髷が流行したのであります。是は勝山と云ふ女が初めて結たから勝山髷と稱するさうでありますが、之の變形を致ましたのが卽ち丸髷であるのであります。勝山が居りました時代と申せば承應明暦の頃ださうであります。が丸髷が出來たのは延寶年間であります。

勝山髷

丸髷は關東地方、江戸を中心とした地方に餘計に流行致しましたそれから笄髷が變つて「さき笄」と云ふものになりまして、關西地方、京大阪地方に流行したさうであります。（女子の髪容は



さき笄

藤岡及高木氏に據る）而して女結髮職と云ふものは何時から職業的になつたかと云ふことに就ては、男の理髮師程判然しては居りませぬ。矢張松岡藤七郎が江戸に店を出した時分から追々女の髮結專門の店が出來たものと云ふことを說いて居りますが、此關係はまだ十分調査は致して居りませぬ。

◎追加――日本女髮結の始祖――明和年間由井はまと云へる者兵庫に閑居し、女髮結を始め是を業と成す。此の女は由井正雪の落胤由井一正齋六代の孫と云ふ。（理髮明鑑）

之を要するに日本の髮を結ひ或は理髮をすると云ふことは、技術本位で學術的ではなかつたのであります。學術上の研究が非常に劣つて居ると云ふことが、吾々衛生上の立場から、先づ注目すべきことゝであります。一體衛生と云ふことを議究する場合には、必ず二つの方面を見なければなりません。即ち一つは專ら豫防することであります。而して他の一つは自らを強くする方であります。之を例へて申しますと、茲に一つの城があると致します、之を完全に守つて行かうと思ふならば、此の城を攻めて來る所の敵を第一に知らなければなりませぬ。即ち如何なる敵が如何なる道筋を通つて來るかを知らなければなりませぬ。斯くして初めて之に對して適當なる防禦方法を講ずるのであります。即ち敵の性狀と其の通路とを知りて初めて敵を防ぐことが出來ます併ながら近來は飛行機等も出來ましたから、上から爆裂彈を投げ付けられないとも限りませぬ。上空から或は地中から敵が城の內に飛込まんとも限りませぬ。併し假りに敵が城中に飛込んだと致しても、此城が堅固であるならば、其の敵は城中でやられてしまひます。即ち城外を防ぐと同時に城內を強くすると云ふことが無くては完全に守れません。之れと等しく衛生の目的に達するには豫防と自強の二方面に努力せねばなりません。尙例へて申しますれば虎列刺が流行の時に、唯無闇に空騷ぎをやつても駄目であります。虎列刺は先づ飲食物から來るから、飲食物を第一注意せんければならぬと云ふ譯で、煮た

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

物でなくては食はぬとか、生の魚は食はぬとか云ふことは卽ち豫防をやつて居る譯であります。所が吾吾の生活には、如何なる場合に、知らぬ間に吾々の口の內に虎列剌菌が這入らぬとも限りません、併し偶〻這入つた虎列剌菌があるとしても、吾々の胃が丈夫であつたならば、胃酸でその菌は殺してしまひます。死んだ菌は腸へ行つて何の心配も要りませぬから、虎列剌には侵されません。依て虎列剌の豫防と共に身體を先づ丈夫にして置くことが必要であります。

　理髮に關しては專ら客の立場から申すと、先づ外敵を十分理解せなければなりませぬ。卽ち理髮の害と云ふものは如何なるものであるかと云ふことを知つて、如何なる道筋から來るか、如何にして之を脫れるかと云ふ三つの事を研究すれば理髮衛生の大體は吞み込めます。依て私は如何なる病氣が理髮に依つて起るかといふことから、極く簡單に申上げて見たいと思ひます。

　第一に指を屈るべきものは截髮疱疹です。俗に白雲と稱して居ります。此病原體は「トリヒョフィートン、トンズランス」と云ふ大變長い名の菌であります。此「トリヒョフィートン、トンズランス」は髮の毛に來る許りでなく顏面にも來ます、無論髭にも出來ますが、私共は本病を以て理髮傳染病の代表者と致して居ります。白雲の多い地方に行きましたならば、屹度其の地方の理髮店の消毒が不十分であると判斷致しましても、大體間違がない位です。吾々が學校を參觀致したり或は地方に出張致しまして、其地方に白雲の者が多い場合には、理髮店を第一番に考に置くのであります。そして本病に關する調査資料は、外國でも日本でも可なり澤山あります。其中珍しいものを二三御紹介致せば、千八百八十八年獨逸の報告に、一軒の理髮店から十六人に傳染せしめたことを明に證明して居ります。又佛蘭西の報告では理髮店の息子が學校へ行つて、二十人に本病を傳染せしめたと云つて居ります。又獨逸ライプチヒ

のレッセルと云ふ人の報告に依ると、皮膚の病氣と理髪店とは非常に關係が密接で、顔に來る本病が多いと證言して居ります。どう云ふ譯かと申すと剃刀を使ふ場合に本病を受けることが多いからだとあります。それ等から推しても理髪店の傳染病の第一番に此病氣を數へねばなりません。

子供が學校に參りますと帽子取りや、角力や、放りはなしにして勝手な眞似をして遊んで居ますから、一人の子供が白雲に罹つて居ると、他の子供が忽ちに之に傳染することは見易いことであります。それで先年も府下千住あたりの學校の子供に流行したことがあります。それやこれやで私は學校の醫師と其豫防法を相談したことがあります。或人は一番手近な方法として、角力はとらせぬやうにしたなら宜からうと云ふ意見もありましたが、子供に角力をとるなと云ふことも無理でありますから、十分に消毒した「バリカン」で頭髪を一分刈より三分刈又は五分刈にする方が寧ろ宜からう、餘り短くして置くと病氣が傳染し易いから長くさせる方が宜いと云ふ相談をしたことがあります。皆様が今後各地を御旅行なさつて、衛生の視察をなさいます場合に、理髪の衛生狀態を御覽になる必要の時には、此白雲には先づ御注意ありたきものであります。日本の諺に「白雲頭の小僧の時から」と云ふ事がありますが、昔の小僧には白雲が餘程多かつたものと見えます。是は今よりも昔の方が頭に剃刀を餘計に使ひました、剃刀は屢々彼等の頭を剃つた、さうして消毒が出來て居らなかつたから、白雲頭の小僧さんが多かつたのであらうと思ひます。今日では少くならなければならぬ譯合ですが、可なり此の病氣が存在することは遺憾であります。

第二は黴毒であります。黴毒の事はさう詳しく申上げる必要もありませぬが、先天性の黴毒ある者は先づ大抵育ちませぬから眼中に置かんでも宜いと思ひます。後天性の黴毒では、一定の時期に皮膚の色色な個所に吹出物を生じます。それが理髪傳染を致

す機會を與ふるものであります。男の理髮店は御承知かも知れませぬが、今は良い店は「ドストン」式の上げ下げ自在な、丁度齒科醫の椅子のやうなのがあります。其椅子は横に臥かすことが出來ますが、それに小さな枕がありまして頭を凭せて動かないやうにして置くのです、此の枕に當る頂の所に能く黴毒性の吹出物が出來ますから、理髮店の椅子の枕は危險物の一つであります、故に枕覆ひは必要で、少くとも紙を客每に置かなければならんのであります。嘗て學生で品行の良い人が、顏の眞中に黴毒の腫物が出來た一例があります、どうして起つたかと云ふと、理髮店に行つて黴毒のある人を當つた剃刀を未消毒の儘で使はれたので、顏を剃つた時に擦り込まれた創口から病原體が這入つたものらしく、額の眞中から黴毒が始まつた譯であります。斯う云ふ危險もありますので、理髮店の傳染病の第二には黴毒を算へるのであります。

第三には結核であります。是は庶民病の一であります、日本到る處に結核があることは萬御承知の事と信じます。理髮業者の間にも客から受ける傳染性の病氣として結核が非常に多いのであります。東京市には理髮業者が男女合せて七千人許り居ります。府下まで入れますともつと人數が多くなりますが、其内で死ぬ數は三百七八十人ですから、恰度一日一人位の割合であります。さうして三日目の者が結核で殪れると云ふことです。是は警視廳の統計に明かに出て居ります。かく業者自體は結核になり易いので、客は其病氣を受けないやうにしなければなりません。理髮師も亦客から受けないやうにすることが緊要です。お互に警戒すると云ふことが必要であります。此の關係上理髮業者には呼吸器を掛けさせることを縣によつては勵行致して居りますが、理髮の技術には姿勢が甚だ緊要です。此姿勢のことは學校の教場で色々な學業を習得する場合にも八釜しく申しますが、殊に醫者が色々な手術を致す場合には、手術臺の高さや姿勢が大變成績に關係致します樣に

理髪の仕事を完全にやらうと云ふには、矢張り姿勢は甚だ大事な事柄であります。それ故に「ドストン」式の椅子が最も宜しいので、客が丈が低くても高くても、自分の都合の好い高さに客を持つて來ることが出來ますから、「ドストン」式が盛んに用ひられる譯であります。それと同じ様に丈の低い醫師が高い外科臺に病人をのせて、手術することは困難であります。又丈の高い人が低い手術臺の患者に、其儘で手術するには骨が折れます。理髪の場合でも外科手術の場合と違ひはないのであまりすから、姿勢と云ふことは非常に八釜しく言はれて居ります。姿勢は實に技術を優良にする一手段でありまして、同時に客より病氣を引き受けない一の手段であります。之を能く理髪師が呑込む様になつて參れば呼吸器の問題も大いに樂になります。呼吸器は今日では段々改良されましたが、理髪師は之を掛けるのを餘り喜ばないやうです。それに吐出したものを再び吸ふので具合が悪いので、近來出來て居ります呼吸器中には、出す息と引く息とが別々になつて居るものがあります、さう云ふものを使ふと大變具合が好い様ですが、客商買の者が顔の表情が妨げられては困りますのみならず、理髪店の店員が烏天狗のやうな呼吸器を不斷に掛けて居るのは、甚だ滑稽にも見えますから、先づ適當な姿勢の下で仕事を致すことを専一に心掛くれば、危險は大に減少致します。又餘計に御喋りをすると云ふ習慣が、傳染の媒介の一つになりますから、用事のない時は話をせぬと云ふ主義が此際必要なことゝなるのです。

第四番と致しては傳染性の膿疱疹と云ふのがあります。病原體は球菌でありまして、貧乏な家庭の子供が多く出入りする理髪店に此病氣が屢々あります

それから色々な濕疹(五)があります。此の濕疹は傳染するとか傳染せぬとか云ふ説がありますが、私の書きました理髪衛生と云ふ書物には、濕疹も一應傳染する病氣として取扱つて居ります。何となればまだ全部の濕疹が傳染せぬと云ふ専門家の説が出て居

りませぬから、只今のところ傳染するものであると云ふ說を採用して、理髪傳染病の一として置く方が宜いと考へます。それから第六番に結節裂毛症と云ふのがあります、是は女の頭髪にもあります。灰色をした極く小さい蝨の玉子のやうなものが色々出來て、其所から盛に毛が折れます。此病氣に就ては色色な學說が發表されました。或人は毛の質が變るからさう云ふ風になると申し、或人は毛の榮養が惡くなるから此の病が起ると云ひ、又或人は黴菌の爲めに本病が起ると申します、又これ等の說の中を取つて、黴菌性のものもあり、黴菌性でないものもあると云ふ學說を出した猾い人も居ります。私も之に倣ひまして黴菌性のものがあると云ふ以上は、矢張結節裂毛症も理髪傳染病の中に算へて置くが宜からうと思ひます。其次は鬼舐頭(七)俗に臺灣坊主と申して居ります。此臺灣坊主の原因も、皮膚を養ふ所の神經が弱つた爲めに禿げると言ふ人と、寄生物があつて禿げると云ふ二つの說があります。で私は此寄生物があると云ふ說に基づいて、本病をも理髪傳染病の一つに算へて居ります。

斯くの如く算へますとまだ色々な病氣が澤山にあります。夫等を一つ〳〵申上げる時間がありませぬが、主なるものでは「フィエドラ」と云ふ病氣があります。之は結節裂毛症に能く似て居りまして、毛に矢張蝨の玉子のやうなものが出來、盛んに折れ又は能く毛が裂けます。本病は一の寄生物の爲めに起る病氣で、殊に女の梳櫛の爲めに傳染することが多いものです。次には丹毒であるとか脾脫疽病の如きは理髪傳染病中危險な傳染病であります。生粹の江戸子は今日でも鼻毛を能く剃ります。是は吾々如き田舍から東京へ出て來た者には實に不思議に思ひます鼻の內に細く尖つた剃刀を入れて、ぐり〳〵と廻して剃ります。御承知の通り鼻毛は非常に硬いもので鼻の內部は柔かいから、剃刀を入れて廻して剃るのでは痛い譯です。夫れに淚を流して我慢して剃らせるとは寧ろ不思議な次第です。さうして鼻毛を剃る

爲めに濕す棒が實に汚いもので、先祖代々使つたと云ふ樣な有樣の棒に石鹼を付けて、鼻の內を濕して剃るのです。私は從來八釜しく申して鼻毛や耳の毛を剃るのは止めるやうにと、理髮師の集まりに出る度に話して居ります、近來は鼻毛は如何ですとか、耳の毛は剃りませんかと云ふ樣な言葉は、殆ど聽かなくなりました。是は大進步と申して宜しいのです鼻毛や耳の毛を剃つて貰つた爲めに丹毒に罹つて、生命をなくした者は可なりあります。丹毒は危險な理髮傳染病と記憶して置かれなければなりませぬ。雲脂を落す爲めに使ふ丸い櫛、あの櫛の爲めに頭皮に丹毒が這入つて、ひどい症狀を起し或は命をなくしたと云ふ實例があります。次に癜風(なまづ)は大抵衣服の下に隱れて居る部分に出來ますから、理髮店では傳染することは少いものであります。然かし必しも隱れて居る所だけに出來ると定まつては居りませぬから、矢張是も理髮傳染病の一に算へなければなりませぬ。それから癩病、是はひどくなつたら誰しも分りますが、さうでない場合には分り惡いものです。此癩病の傳染は學問の上でこそ傳染病として取扱つて居りますが、事實傳染力は極めて鈍いのであります。六百組の夫婦を取つて其中片方が癩病であつた場合の調べを見ますと、僅か三人だけが傳染して居ます。是の事實から見ましても極く傳染力が弱いことは分ります。それから片親が癩病であつてさうして生れた子供に就て調べて見ますと、百分の六です、兩親が癩病であつて生れたものは百分の十二の癩病があります。斯う云ふ關係から見ますと理髮店の傳染病に算へ上げる程危險なものではないとも思はれますが、矢張是も算へて置く方が安全でありますから算へることに致します。次は「トラホーム」であります、「トラホーム」が傳染することは萬御承知のことでありませう。

さて斯くの如く種々なる病氣はどう云ふ徑路を取つて來るかと申すと、先づ第一に理髮師の身體から傳染します。第二は　道具、第三には理髮する部屋

から傳染します。依つて此三つのものに向つて豫防の方法を講ぜんければ病氣を防ぐことが出來ないのであります。道具に付ては技術が段々進むに隨て、精巧な道具が使用されて參りましたが、それを一つ一つ御紹介申すことは時間が許しませぬ。唯私は此の際自分の子供なり或は兄弟等を理髪店にやる場合には、其店が果して客毎に道具を替へて居るか、客毎に消毒した道具を使つて居るかを觀察して置くことが必要であると申上げたい。一體理髪業に對しては理髪業取締規定が發布されて居まして、其の令に違反した者は警察處罰令に觸れると云ふことになつて、一通りの消毒は行つて居りますけれども、中には消毒を勵行せぬ向きもありますから、家族を出入させる理髪店は、一應下調べを致さなければなりませぬ、又理髪道具の消毒は譯もないやうでありますけれども、決してさう簡單に行くものではありません。消毒には色々な條件があります。例へば短い時間の間に消毒を了らなければならぬとか、餘り道具を損じてはならぬとか、或は消毒費用が安くなければならぬと云ふ如き、根本條件があります。故に此三つの條件を具備して消毒する段になると消毒は困難でありますから、各府縣でも理髪店の消毒に就ては非常に惱んで居ます。刷毛のやうなものは消毒すれば譯はない樣に思はれますが、豚の毛の刷毛は一本五圓から十圓するので、それを消毒液に浸けるやうに命じても、浸けないのは當然であります。それ故に消毒方法を命ずる場合には、費用が掛らないやうにしなければ實行が出來ませんから理髪店での消毒實行はさう簡單に行かないものであります。「ホルマリン」の消毒其他の瓦斯消毒が應用される樣になつて以來、次第に多く消毒される樣にはなりましたが、以前は中々に消毒は出來なかつたのであります。猶理髪店で廣く使ひまする「バリカン」と云ふ剪毛機があります。其二枚の齒の間を消毒することは非常に困難なことですから、注意深い家庭では「バリカン」を態々家から持たしてやる向もあります、

次に貸手拭は「トラホーム」を傳染せしむる機會を與へるから、貸手拭の禁令を出して居る地方が全國に可成あります。近い所では埼玉縣が禁じて居りますうつかり埼玉縣の理髪店へ行つて、顏を御洗ひなさいと言はれて顏を洗ふと、手拭を呉れない。手拭をと云へば、貸手拭は致しませぬ。今になつて貸手拭がないでは困るではないか、どうかして呉れ。料金を一錢御出しになれば洗濯した物を貸します。と云ふ風に埼玉縣はなつて居ります。兎に角共用手拭は危險でありますから理髪店へ子供をやる場合には、自家から手拭を持たせる親は少くはありません。世間には極端に潔癖の人が間々あります。私の知つて居ます範圍では、潔癖過ぎる人がありまして、子供を決して理髪店にやりませぬ。可哀想に子供はお父さんの爲めに慘々痛い目に遭はされて、出來上つた頭は愛宕山の樣に非常に段々が多いのです。又其の人自身の頭髮はどうするかと聽いて見ましたら、鏡に向つて自分で剪るのだそうです、爲にいつも其の人の髮は長めで、後ろの毛を持上げて鏡で見て剪つて居ます。勿論その人の頭は凸凹です。又一人の家庭は非常に八釜しい潔癖屋でありまして、下女に齒の付いた下駄以外には穿かせません。何故かと聞けば、往來には澤山痰が吐いてある、その痰の厚さはその人が物指を以て痰の厚さを度つて、一番厚いのが幾らあると云ふ見當を付けて、下駄の齒の高さは幾らと定めてしまつたのです。そうして女中の下駄は時々檢査されまして、少し低くなれば直ちに齒を入替へるやうにして居る相です。斯の如きはちと極端であります。

是も私の知つて居る醫師で、現在生きて居る人でありますが、消毒しない金は取らない、一切握らぬことに致して居ます。自分の家にある金は銀貨でも銅貨でも紙幣以外は消毒液の中に入れて消毒します紙幣は瓦斯消毒をやります。故に此の人は財布には常に消毒した金を入れて市中に出て行きます、そして別に護謨で造つた蟇口を一つ持つて居ります。同

人は成たけ釣錢を取らぬやうにして、居ますけれども、たまには釣錢が來ることがあります、其の時は護謨の袋口を開けて、先方に釣錢を入れて呉れと言ふさうです。入れて貰つた金は家に持ち歸て消毒を致します。斯う云ふ風にやる人は餘りありますまいそれから是も極端な例ですが、何時も箸と小さい茶碗を持つて歩く人があります。此の人も私の友達で矢張醫師ですが、他所の家へ參りまして、御茶が出ますと、自分の「ポケット」から茶碗を出しまして、どうか之に下さいと差し出します。又菓子が出ますと、自分の箸を出して、菓子を挾んで、幾度も火鉢の上で炙つてから初めて食べます、所が其人は到頭發疹窒扶斯に罹つて死にました。誠に氣の毒なことでした。猶ほ或る家庭では醫師をまるで蠅と心得て居るのがあります。其家では醫者が來れば、玄關から病間までは白い布をずーつと敷きます、非常に優遇したやうに見えますけれども、事實は布以外を歩いて呉れるなと云ふ事です。お醫者さんの靴下は汚い何處の家にでも這入るから汚いからと云ふので、其白い布以外には歩かせないのです。又他家で使つた道具を使はれては困ると云ふので、總ての醫師の道具を備へて置く家もあります。又醫者さんが來ればいきなり風呂に入れ然る後初めて病間に連れて行くのもあります。斯う云ふ風に極端になると事は面倒になりますが、理髮店でも相當の注意は是非拂ふことが必要であります。即ち安心の出來る理髮店に自分の家の者は行つて居るかどうかと云ふことは、常に注意しなければならぬ事であります。

女の結髮店は私は餘り方々見て廻つた譯ではありません、是まで知つて居ります範圍では、女の結髮師は店に客を呼ぶのと、廻つて歩くのがあります。何れに致しても女の方は男と違つた色々道具が要ります。その道具の内には目立つて汚いものがあります。それは癖直しに使ふ布が先づ目に付きます、夫れはまるで雑巾みたいな布であります。つい此間も仙臺へ參りまして市中の理髮師を集めて色々話を致

しました時に、女の結髪師も見えましたから、癖直しの布は東京で聽いて見たら、古い雜巾みたいな布でなければ癖は直らぬものではないさうなと申しましたら妙な顏を致して居りました。事實あの癖直しと云ふものは汚いものです。店ではあの布で色々な瓦斯が分解した臭い頭をグリ／＼と押し付けて擦つて居ます、それで又次の人も同じやうに擦ります。雜巾をよくゆすがずに使用するのと同じです。女は髮の毛を男よりも大事にすることは申すまでもありませんが、其大事にして居る頭の毛にも尚「フィエドラ」が出來ます。故を以て癖直しの如きも安心の出來る奇麗なものを用ゐなければならない筈です。一體女は男と違つて大抵結髮の道具は各自に持つて居りますから、自分の物を結髮店に持つて行つて、結髮して貰へば一番安心であります。所が結髮師に言はせますと店で使ひなれた櫛でなければ仕事がしにくいと申します。それはさうかも知れませぬが、使ひなれた櫛と稱するものは、油でべた／＼なものです。私が三重縣で女髮結を集めて櫛の消毒を十分にしなければならぬことを話ますと、理窟はちつとも反對はないが、消毒液の中に櫛を入れると櫛が戻つて仕事がしにくい、それで甚だ困ると申しました依て良い消毒の方法を敎へてやらうと云つて次の樣に話ました。一體櫛の消毒は、油で汚れて居るから直ぐに消毒液の中に入れて消毒にならない、一遍曹達水の中に入れて洗つて油を取つてから消毒液に入なければ消毒が出來ない。亞米利加でやります方法としては、「アンモニア」水を「コップ」一杯の水に二三滴落して、それに浸けると櫛の油が取れる、その後消毒液に浸せば消毒が完全になる。勿論此の消毒の爲めに櫛が戻るから、消毒後に麻で造つた髢と同じやうな形のものを用意して置いて、消毒した櫛に油をたらして、其髢にきう／＼と擦りつけること四五回に及べば、櫛は本の油の乘つた狀態に直ぐ還ると云ふことを良く話してやりましたので、一同は承知を致し、私も無事放免されたことがあります。兎

に角女の結髮店でも使つて居る道具は客毎に新にされて居らぬと思ひますから、結髮店へ行く時は、出來るだけ自分の道具を御持ちになるのが宜いので御座います。

次に尚一つ申上げたいことは、女の結髮師は能く一軒一軒と廻つて歩きますので、其處に一の危險があります。即ち永く病氣にでも罹つて居て、どうも氣分がくしや〱して仕樣がないから、今日は一つ髮でも結つて見やうかと、寢て居たその室へ結髮師を呼んで來て、頭を奇麗にさせることが間々あります。さうすると、次の家には其著物其姿で直ちに廻りますから、傳染病菌を運ぶことになります。斯う云ふ折にこそ足袋の「カバー」でも當がふとか、或は手術著等を自家に用意して置いて、それを著せるとか或は自家の道具を使はせると云ふ風にすれば、大分安心が出來ると思ひます。

最後に近來種々なる理髮に關して新しい技術が起りましたから、それを一二申上げて御免を蒙りたいと思ひます。「マニキューア」即ち爪を奇麗にする技術は、日本では餘り流行しては居りませぬ。極く一部の上流社會の女の方に流行して居りますが、一足外國に出ますと、理髮店には「マニキューア」は附物になつて居ます。店の一隅に小さい「テーブル」があつて、爪を磨いて呉れて居ます。此「マニキューア」には鑢であるとか鋏であるとか、擦つて光澤を出す羚羊の皮で造つた刷毛であるとか云ふものを使ひますが、紐育醫師會が此の技術に就いて請願を起して居ります。夫れは理髮店で行ふ「マニキューア」は、消毒が不十分である爲めに、瘭疽を發する人が多いから、理髮店の「マニキューア」を禁止して呉れと云ふのであります。我が國では今日はまだ盛んに行はれないから論外の氣も致しますが、將來斯う云ふやうな技術が流行して參つた時分には、消毒のことを十分に注意致さねばなりません。次に美顏術と云ふのがあります。此美顏術と云ふのは本式にやれば先づ一週間位は功能があります。又十二時間位の間功能

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のある程度の輕い手術も出來ます、所が近來理髪店でやつて居ます美顏術なるものは、理髪の景物と心得て居るかの觀があります。美顏術は獨立の技術で決して理髪の景物で御座いません。それを見眞似聞眞似でやつて居る連中がありますので、却て顏に汚點を付けると云ふやうな缺點があります。指二本で擦ります手術に致しても、顏の柔い皮膚は、若し二ツの指先きが誤つて打突かる場合には、直ぐと汚點が出來るのであります。美顏術は理髪店の營業の餘暇に景物的に取扱ふものでなく、彼のザルフェルド氏の如き專門家が出て參りまして、獨逸では醫師がやつて參ります。醫師と理髪師は昔から寄つたり離れたりして居りますが、本式の美顏術は醫師の致すべきものと私は考へます。又美顏術を結婚の前日に或は結婚の其晩にやつて、亭主たるべき者を驚かすと云ふやうなことも、間に合せには宜いかも知れませぬが、私共が云ふ美顏術は、さう云ふものでは御座いません。所謂醫療の一として之を取扱つて參りますので、將來日本でも專門的に起ることの希望を有つて居ります。

猶ほ一二髮の毛の手入れを御話致して置きます。女の方は髮の毛を非常に大事に致しますが、髮の毛の手入れは子供の時から十分にしなければ駄目で御座います。年頃になつてからは本當の手入れは出來ませぬ。小さい時に健康狀態を好くするのみならず特に食物の中に沃度分の多いものを食べさして置きますと髮の毛は甚だ良くなります。京都や大阪の女は割合に良い髮の毛を持つて居ますが、食物が好い譯ではなく、全體から云ふと食物は惡いかも知れませぬが、昆布類を盛んに食べます、京大阪の婦人は汽車へ乘つても早速口を動かして居ます、それは先づ昆布です。昆布類は確に毛髮には宜いと思ひます又子供の髮の毛を荒布の煮汁で洗ふと髮の毛は良くなります。又刷毛を盛んに使ふことが子供の頭に必要であります。刷毛は日本の女は餘り使ひませんが西洋の女の髮の結ひ方を昨年米國に參つた時に、少

し見て參りましたが、西洋の女の髮の毛は刷毛で生きて居ると云つても宜からうと思ひます。私共が知つて居ます日本の婦人方の範圍内では殆ど刷毛を御使ひにならない。此の刷毛を使ひますと、髮の毛の艶が良くなることは申すまでもありませぬ。同時に塵を去ることも十分に出來ますし、頭の皮膚に刺戟を與へて毛の發生を好くします。而して刷毛を選むには、平等の長さに平坦に切られたのでなく、刷毛の毛が長し短しに切られて、凸凹不揃ひのものが宜いので御座います、毛が平等に竝べてある刷毛を以て頭を擦りますと、頭髮の上面を甜めるだけで、效果は不十分です、然るに毛の長し短しの刷毛で擦りますと、十分に總ての皮膚面を拂つて呉れます。丁度齒磨の刷毛を選むにも、平等の毛竝のものよりも不揃のものが良いのと同じ譯であります。

それから櫛の選擇であります。女の子供の頭には齒の小さい櫛は決して使ふものではありませぬ。即ち梳櫛の如きは禁物です。もつれ毛を櫛だけで解くのは、甚だ不親切な遣方です、必ず一方には指を以て解いて、同時に櫛でとかさなければならぬものと思はれます。又金屬で造りました櫛は、丈夫で値段が比較的廉く且つ永く保ちますから、大變宜いやうでありますけれども、皮膚を毀す虞が多いので、子供の頭には金屬の櫛は禁じなければいけませぬ。猶ほ又櫛の齒は平等なものを選ばなければなりませぬ中には半分は粗い齒半分は細かい齒の櫛があります、それを使へば便利だと思つて子供の頭に使つて居る方がありますが、宜しくありません。次に髮の洗ひ方は、理髮店などを調べて見ますと、甚だ理窟に合はぬ場合が往々あります。私は理髮業者を集めまして、昔の刀鍛冶は態々相州鍛冶の湯加減を盗みに行つたと云ふが、人間の大事な頭を洗ふ場合は、湯加減所の騷ぎではない、もつと鋭敏に作用する人間の皮膚であるから、刀鍛冶よりももつと八釜しく研究せねばならぬと話致して居ります。多くの店は冬は湯夏は水と定めて居る丈けで甚だ不合理な洗ひ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

方を致します。人の頭は脂の多いものもあれば、又少い頭もあり、雲脂の多いのも少いのもあります。それを一視同仁に夏は水冬は湯でやるだけでは決して十分ではありません。且つ又日本では男子が頭を洗ふ度數が多過ぎます。髭を剃ると頭を洗はにやならぬ樣に思つて居ります。然るに頭を洗ふのに湯加減が惡く、更に石鹸が其人に適合しませんければ、段々禿頭が多くなるばかりであります。殊に子供に使ふ石鹸の如きは、刺戟性の出來る丈け少いものを選ばねばなりません、例へば丸善邊りで賣つて居ります「クチクラ」の如きは先づ大丈夫であると思ひます。これは一個七十錢位の石鹸でありますが、要するに子供の頭には別して刺戟のない石鹸を使ふやうにしなければなりませぬ。

西洋の本には女の髮の毛にも、能く日光を當てることが必要であると書いてあります。西洋人は髮を洗ふと好んで天日で乾かすやうにします。其の際椅子に腰を掛けて髮を乾かしながら、足を出來るだけ動かして居ます。足を動かすのは、行儀が惡い樣ですが、頭を天日に乾かす場合に血液の片寄るのを防ぐと申すのです。併し早く乾かす必要ある場合には暑い空氣を送る器械を以て、十分内外で乾かします西洋洗髮では椅子に寢た儘で、髮を洗つて、さうして熱い空氣を髮の毛だけに掛けて、乾く樣に裝置が出來て居ます。但し僅數ながら此の裝置は日本の理髮店にもあります。併し十分に空氣を通じ且つ日光に當てることが宜いのであります。私は曾て女の頭は色々の形に結んであるから、熱を持つであらうと思つて寒暖計を入れて濕度を計つたことがあります所が其の結果は豫想と反對でありました。恐らく揮發性の油を使ふからでありませう。所が近來束髮が流行して油を付けませぬのみならず、色々な藻屑みたいなものを入れます。但し此の種の結髮は幾日間も其の儘で結つて置かぬからこそ、衛生的に保たれて居ますが、日本髮と同じやうに月に何遍か、一度結ふとかならば大變です。西洋の女は寢る時には解

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

いて眠、翌朝になつて梳つて刷毛を掛けて結ひます是が髮の毛を保つに一番良い方法と思ひます。斯く致せば塵は取れますし、頭に付けた種々なものが分解して何時までもそこに溜つて居ると云ふやうなことがなくて濟みます。つまり髮の毛の手入れには、盛んに刷毛を使ふと云ふことゝ、餘り不用なものを入れないことゝ、入れた場合には尙更早く髮を梳きかへすことが必要であります。又洗髮用の水自體に付ても、西洋の少しく上流の家庭の女の子供の頭を洗ふ水は、非常に大事にされて居ます、即ち一番良いのは雨の水であると申します。大凡水の中には種種な鑛物質が這入つて居て、例へば「マグチシア」であるとか、石灰であるとか云ふ成分が混在して居ます。而して頭の髮を洗ふには軟かい水を選びますが一番軟いのは天水其次が川の水、それから井戸の水と云ふやうな順序ですから、子供の髮の毛を洗ふには西洋の上流では雨の水を使ふやうにして居ります。斯くの如きは一般人に適用することは出來ませぬが、是れ程に迄小さい時から女の髮の毛は大事にして置かんければ本當の良い毛にはならぬと云ふことを御承知を願ひたい。多くの人は西洋人よりも日本の女の方が髮の毛を大事にすると申しますけれども、私は必ずしもさうは思ひませぬ。矢張家庭にも依りませうが、頭の手入れは西洋人は却々理窟に合つた手入れを致して居ると申さねばなりません。

髮に使ひます色々な香油の種類がありますが、子供の髮に一番良いのが「オリーブ」油であります、それ以外に油は殆どないと言つて宜いのであります椿の油の極純粹なものは先づ「オリーブ」油に次で良いものです。併し香料を入れたものは子供の髮に使はぬ方が宜いので御座います。又玉子で髮を洗ふ場合に、黄味だけ使ふ人があるし、白味だけ使ふ人もありますが、黄味と白味を一所に使ふ人もあります黄味だけ使ふ人は、玉子の黄味の中には硫黄成分があつて、是が油と交つて毛を養ふ働きをすると申します。又白味を使ふ人は、黄味にある成分は白味の

方にもあるから、寧ろ白味の方がきしらない丈け使ひ良いと言ひます。又折衷說はなに兩方に成分はあるのだから、黄白同時に使ふが宜いと申すのであります。玉子で髪を洗つて呉れと言ふと日本の理髪店では、御客の前に十錢か十五錢の玉子を間違なく使ひますと云ふ風に、客の目前で卵を割つて見せます西洋ではさうは致しません、玉子と水と混ぜ更に少し香ひを入れて、ちやんと用意した「エッグ、シャンプー」液を使用致します。どちらにしても玉子は惡いことはありませぬ。

理髪衛生の事も取立てゝ申すと種々樣々な問題が此外にもまた澤山ございます。理髪衛生を客の立場から申しますと、使ふ道具が客毎に替つて居るや否やを先づ觀察し、さうして安心の出來る店に出入りをする樣に致すことが必要です。それから女の髪毛は大事にしなければならぬが、大事にするに付きても、今までよりも日光と空氣と而して水とを十分に使ふことを工夫しなければならぬと思ひます。總ての人間が永生きをして百歳の壽を保ちたいのは當り前の願望でありますが。此延命の方法に就ては既に紀元前二千年前リークルーグの有名なる言葉があります。即ち人が永生きをしたいならば、不斷一番餘計に使用するものに注意をしろ、平素餘計に使ふものは何であるかと云ふと、水空氣及日光是なりと說いて居ります。此三つの物に注意することが永生きの方法であります。眞理は古いものでありますが、唯其の應用は日に月に新たなるものです。吾々が理髪の衛生を議論する場合にも亦眞理は應用されます今少し申上げたいことはありますけれども、餘り時間が長くなりますので、今日は是で御免を蒙ります御清聽を謝します。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

叢談

眼球の植替に就て

莊司秋次郎

前號の本誌に福田學士が『若返り法の話』と題して、近頃世間で騒いで居る所謂「若返り法」なるものに就てその眞價を批判し、世人の惑を解かれたが、私も自分の專門として居る眼科の領分で丁度これと同じやうな事をお話しなければならぬことがある。

それは昨年オーストリアのウヰーン府で眼科學會と生物學會とが聯合で學會を開いた時に、生物學者プルチブラム教授門下の一學生でコッパニイと云ふ青年が面白い實驗成績を發表した。その實驗と云ふのは動物の眼球を植替へることで、それに成功したと云ふのである。

これが大評判になつて、種々の新聞雜誌に書き立てられた。それで實は私も彿臘或日本の醫學雜誌に一寸それを紹介した所が、矢張片眼の人や何かゞ、實際眼球を植替へて視えるやうになるでせうかと眞面目に質問される。

さあ、これが出來れば實際眼科學上の一大革命である。老衰した者が「若返り法」で再び青年になると云ふよりは、もそつと不思議な、生理學及び病理學上の難問である。

斯う云ふたゞけでは、醫學、殊に神經の解剖や生理に暗い人々には却て合點がゆかぬかも知れぬ。單に眼窩の内に在る圓い眼球であるから、悪い眼球は拔いて、その代りに善い活きた眼球を嵌込むだならば、それでまた物が視えるやうに成りさうなものだと思はれるかも知れぬ。こゝに迷を生じて、世間を騒がし、山師者などに乘せられることになり易い。凡て學術上目新しい研究の一部分が發表されて、それが未だ十分完成の域に至らず、學者の間に於て

また〳〵疑問であり、研究の餘地がある事柄が、世間に漏れるといふと、如何に自然則に反した事でも、兎角都合の好い方に解釋してしまつて、それを實地に應用せむと試むる無法者を生ずる傾がある、依てこの眼球の植替に就ても、その事實を明かにして、迷はぬやうに辯じて置く必要があらうと思ふ。

さて本題のコッパニイと云ふ學生がやつた動物試驗といふのは次の如き事である。即ち鼠や蛙などが盲目になると、その美しい色の代りに暗澹たる色が現はれて來ると云ふ事實がある。所でこのコッパニイ君は偶〻盲目になつた魚と蝦蟇に他の魚と蝦蟇の眼球を植込むで見た所が、是等の試驗動物は、漸次再び舊の色彩美を恢復して來た。そこで、それは植込むだ眼が活著して再び視力を恢復したものであらうと判定し、それから蛙に就て引續きこの實驗をやつて見るに矢張その動物は再び視力を恢復した。

即ちこの實驗に供した蛙や雨蛙は、これを人工的に飼養して居つたのであるが、それが新しく植付けた眼で以て蠅や其他の小蟲などを見付けて捕へるやうになつた。又虹彩や角膜が光線に反應し、機械的の刺戟にも反應するやうになつた。こゝに於てコッパニイ君は更に一歩を進めて溫血動物に此實驗を試みた。即ち鼠の兩眼を失明させて、これに他の鼠の兩眼を植替へて見たのである。然るにこれも亦その網膜及び視神經が機能を呈するに至つたと云ふので、コルメン教授が顯微鏡檢査を行つて見ると、如何にもこの新眼球は正常の狀態を呈して、その機能を營むに足るものであると云ふことになつた。即ちその新しい視神經の斷端が舊視神經斷端の內へ生え込むでゐたと云ふことである。

事實は大要右の如くであるが、これに就て伯林大學教授ドクトルグレーフ氏が頗る面白い注意を與へて居るから、それを御紹介して參考に供したいと思ふ。

此の如き新聞報道は、多くの盲人をして法外の希望を起さしめるに足る、實際私は何れの盲學校に

於ても不安を來し、多くの盲人は、その安穩にして默想的なる仕事多き生活を攪亂せられ、從來の希望を絶つに至るものあることを認めた。故に余はこれを防ぐ爲に、此の如き眼球の植替と云ふ事に就て少しく述べて置かねばならぬ。

臟器の移植と云ふことは、今日に於ては非常に研究されて居ることで、隨分立派な成績も擧つて居るし、將來はます／＼期待さるゝ所の多い研究である。一體眼球を移植すると云ふことは、考へ易いことである。何故ならば、眼球は、腎臟とか肝臟とか云ふやうな内臟よりも手が付け易いのみならず、憐むべき者の中でも最も憐むに堪へたる盲人を救はむが爲には古來あらゆる事が試みられたからである。然れば全眼球の移植と云ふことも實は決して新しい事ではない、現今の臟器移植法が未だ科學的に研究し始められなかつた以前、既に疾うの昔に屢〻試みられた事である。二三十年前にも屢〻方々の國から、就中亞米利加邊から大變な報告が出たものである。即ち無名の研究家某が兎だとか犢牛だとか或は豚の眼球を人間に移植して、成功したと稱し、それが大變な評判になつて、調査委員が任命されたとか何とか云ふて騷いでゐる中に、忽ち音沙汰もなく靜まつて、話が跡形もなく何處かに消て了ふのが常であつた、少しく經驗のある眼科醫ならば、勿論兎や犢牛のやうな大きな眼球の移植の出來る筈のものでないことを承知して居る。人間の眼球を剔出した後に、その眼窩内に、例へば兎の眼球を入れることは雜作もないことである、而して少し巧にやれば隨分うまくその周圍と癒著して、二三日間は或は活著するかも知れぬと思はれるやうに見える、併し段々色澤が惡くなり始めて、萎縮して遂に死んで了ふものである。この移植された眼球は、その生活機能を維持するには、血液の供給が足りない、而かも眼球に具はつてゐる多數の細い血管を、そのまゝ他の眼窩に移して縫合するやうなことは、今日の吾々の技術では未だ出來ない藝當である。

併しこれが假に出來るものとする、卽ち將來手術が巧妙になつて、新しく植付けた眼球に十分血液が流通するやうになるとする。さすれば、それが能く癒合して、感覺神經も運動神經も亦癒合し得るものとする。──コッパニィ君の實驗では、これが出來たもののゝやうに見える。そこで、總て是等の事が、未來の音樂として、先づ可能のことゝ許すとしても尙ほ一つこゝに出來ないことがある。と云ふのは、苟もこの地球上に自然の法則と云ふものが支配してゐる限りは、視神經が再び他の視神經と結合して、その眼が、ちらりとでも光明を認め得るやうになると云ふことは決してあり得べからざる事なのである。

吾人は一身體に於て、中樞神經系卽ち腦・脊髓等と、それから電信線のやうに全身に通つてゐる末梢神經とを區別しなければならぬ。この末梢神經の方は、切斷されても再び癒合して又役に立つやうになるものである。のみならず末梢神經は元來さういふ傾向を有つてゐるもので、切離されても、その間に橋渡しをしようとする傾のあるものである。故に例へば指の感覺神經を切れば、その指はもはや感じがなくなる、けれども暫くすると復びその切斷端が癒合して感覺が又舊の通り本復する、指の運動神經も同樣である。斯樣な所からして指はこれを移植することも出來ると考へられぬことはない。併し中樞神經系統になると、これとは全く趣を異にしたもので、一旦切離された中樞神經の神經纎維と云ふものは、決して再び癒合して復本のやうに働く筈のものでない。然るに眼の視神經と云ふものは末梢神經ではなく、その纎維は全く中樞神經の纎維のみで、所謂腦の白質に屬してゐるものである。故に玆には一旦破壞され又は切斷された視神經は決して復び光線を傳ふることなしと云ふ不易の原則が支配して居るのである。併し試みが遂に研究となる。吾人はこの原則を元より承知してゐるけれども、それでも視神經の癒合と云ふ事は隨分試みられたものである。若し眼球の後の處で、眼球を傷つけないやうに注意して視

神經を切斷すれば、これは容易に兎に於て試みることが出來、場合に依ては人間に於ても必要になることがあるが、その後一兩年すると、視神經は餘り甚しく隔てられない限りは復びその神經の斷端が互に癒著して、視神經周圍の神經鞘といふものも復舊し、脊髓の周圍に脊髓液が通つて居るやうに液體も又流通するやうになる。のみならず視神經の周圍に走つてゐる感覺神經の共に切斷されたものも復び癒合して通ずるやうになる、こゝに於て、その視神經を顯微鏡的に檢査をして見ると、視神經纖維は、その切斷された部分に於て悉く、そのまゝになつて居る。一「ミリメートル」程も癒合した處はない、或は僅かに兩端が結合せんとしたやうな形跡を認むる位のことである。かう云ふ次第であるから、盲人及びその家族の人達も此の點に就ては全くあきらめなければならぬ。視神經を切つて、それを繼ぎ合せて復た物が視えるやうになるわけがない、決して斯樣な方法に依て何も目出度い事を期待することは出來ない。今日のみならず將來に於ても駄目である。蓋し、視神經纖維の斷端が復び舊の如く結合するものでないと云ふことは、これは一の自然則といふべきものである。

戰爭で盲目になつた者の多數は、側面攻擊の際に彈丸が顳顬部に中つて、眼球は傷つけずに、眼の後方で視神經を切斷したが爲に失明するに至つたものが多い。そこで素人は勿論のことであるが醫者でも餘り專門的知識のない人は往々斯ういふことを言ふ。其視神經をもう一度縫合することは出來ないものだらうかと。これは確かに出來る。併し眼科醫は誰も眞面目にこれを行はうとするものはない。といふのは、前述の理由で、切れた視神經を縫合して見た所で、それが何の役にも立つものでないことを知つてゐるからである。

私は或人が斯う言ふのを聽いたことがある。『學者といふものは兎角萬事を豫言したがるものであるが、併しこの天地間には、吾が豫言者輩の到底夢想

だも出來ない幾多の事があつて、發見は往々人の先見することの出來ない樣な、まるで異つた途に出づるものである』、確かにこれは尤な事である、のみならず凡そ發見に際しては、それが有效なるものであるならば、そこには必ず一種の新しい考が無ければならぬ。これが卽ち新發見の本性である。併しその考は自然則に矛盾したものであつてはならぬ、然らざれば、その考は妄想に過ぎない。さて吾々科學に從事して居る者は、他の人々よりも能くこの法則を承知してゐる譯であるが、これは次の樣な例を擧げて話せば誰にも解かる事と思ふ。卽ち今一粒の豆を採つて、それを乾かし、百年なり或はもつと久しく經てから地に植える、さうするとそれが復た萌える。ところが樹木の一片を鋸で切取つて、それを乾燥すれば、これは如何にしても再び芽を出して綠の葉が茂るといふことはない。今或人が、木製の椅子の一脚を植木鉢に植込むで、それに灌水し、如何にしたならば、この椅子の脚が綠になつて花が咲くであらうと觀察するならば、これは何人にも餘り賢明な實驗とは思はれまいとおもふ。これ卽ち吾人の所謂自然則に矛盾してゐる事であるからである。これと同樣、專門家にとりては、視神經を再び繼合はせて物が視えるやうにしようと試むるのは全く目的の無い事なのである。

扨てコッパニイ君の實驗に就ては、これに關して學術的報告が無いから、詳しい事を云ふわけにも行かぬが、恐らく唯評判に過ぎまい或は研究の足りない青年のことであるから、何か間違つたのかも知れ、ぬ（例へは鼠がその新しく植付けられた眼で以て餌を發見することが出來たと報告した所で、それは何も視えると云ふことの證明にはならぬ、これは臭に由ても行はれる事である）、併し科學的に又理論上面白い實驗を行ふに成功したと云ふ事かも知らぬ。吾吾は兩棲動物の幼蟲などの極小さな眼や、その一部分を修繕したり移植したりすることは、溫血動物の大きな眼球に於けるとは全く趣を異にしてゐること

を知つて居る。例へば前者に於ては、その眼の水晶體を取出しても、これが再び發生するが、人間や其他の哺乳動物に於ては出來ない事である。是等の未だ發育期にある幼蟲に於ても、その視神經纖維の縦一二本でも新しく形成せしむることが出來るかとなると、これは曾て人の知らざる所である。甚だ以て疑はしいことではあるが、縱これが出來ることがあるものとした所で、尚ほその他の點に就ては、一旦切斷された纖維は決して再び機能を營むに堪ふるやうに接合し能はざるものなりと云ふ大法則を適用されなければならぬ。

育兒

小兒咳嗽時の手當

醫學士　竹内薫兵

誰でも子供が咳をすれば早く止めてやりたいと思ふ。殊に母親などは何を措いても咳を止めて下さいと望む人が少くない、然し咳には種類があつて早く止めてよい咳と、止めては却て身體に害になる咳との二通りある。で今出て居る咳は止めてよい咳に屬するか、止めて惡るい方の咳であるかを見判けるのは正に醫者の領分であるから、それは玆では述べませんが、要するに咳は出るべき理由あつて出るのであるから、無暗に止めべきものでないと云ふ事を忘れてはならぬのである。それなら咳の出る時は放つて見て居ればよいかといふに、さうではない、それぞれ手當が要るのである。抑も一概に咳といつても、必ずしも一つ所から出て來るものではない。鼻が惡るくても、咽喉が惡るくても、氣管や氣管枝に病氣があつても、亦勿論肺や肋膜に病氣があつても出るのである。それからそんな所に病氣はなくとも、耳の病や胸の淋巴腺の腫れる病氣などでも皆咳が出る。然るにこれらの病氣は、一々療治が異ふもので

あるからこゝから、出る咳の治療法も從つて異ふものである。賣藥にある咳止めの藥を飲ましたところで、この理をよく飲み込んでそれに應じた手當をしない限りは容易に治るものでない。又大人の咳を止める方法と子供のとは違ふから、大人の咳の分量を少しにして子供に與へたところで害はあつても益はない。咳は容易に止まらない事となる。

咳の出る場所さへ判ればそこを治療すれば敢て咳を止めやうとしないでも、自然と咳は止る。しかし咳だけが病氣ではない、病氣は必ず咳以外にあるから、むやみに咳止めばかりにあせつてはならぬ、例へば氣管枝と云ふ所に痰がたまると、必ず咳が出る。それ故本元の痰を直さなければいくら咳止めの藥を飲んだところで咳は決して止まらぬ、又百日咳と云ふ病氣がある、これは咽喉に百日咳菌と云ふ黴菌が附着して、その結果その部分を惡るくして出る咳である。これにはどれ程氣管枝の療治をしたところで咳は止まらぬ、かく簡單なことであるが、世の多くの母親達或は醫者も考へ違ひをして居る人がないとも限らぬから、くどくどと述べた次第である。

どんな咳にも空氣は濕つて居る方がよい。空氣が乾燥し過ぎると咳は治らぬ、これはどこから出る咳でも同じである。だから咳の出る病人の居る部屋は火鉢へ金盥のやうな平たい器へ水を入れたものを掛けて、絶えず湯氣を立てゝ置くがよい。費用を惜しまない家庭では、吸入器から絶えず蒸氣を出して置いてもよろしい。その吸入器は一つと限らない幾個も備へ付けて出し放しにするがよい。但し梅雨期其他空氣の濕つてゐる時期には不必要である。

これと同じ理由で熱の出た時と同樣に胸へ濕布をしてもよろしいが、病氣のあり場所によつて、必ずしも胸と限りません。頸へ卷くこともある。熱がない限りは溫かい濕布にすべしである、この外一番大切なことは、病人の部屋は溫かくして置くことである。華氏の六十度内外が丁度よい、然しこの溫度は健康な人には少し苦るしい程度であるから、少し

位ゐの咳なれば何も必ず六十度と限つた譯ではない。今少し低くてもよいのである、唯溫度に甚だしい高下のあるのは惡るい。要するに咳に大切なることは濕りぼくして溫かくするのが主である。昔から咳が出たら溫かくせよといふのは今も變らない定說であるが、如何なる場合にもと思ふのは誤りで、又程度もある、よく良家の子女を大切に大切にといふので、咳一つしても厚著させ、部屋を閉め切るといふやうにする結果は却て抵抗力を減じ、普通の子供より弱い子供となつてしまふのは、其程度を誤まつたものである。然らば大人と同様に冷水浴、冷水摩擦などを平素から行つて居たら定めし子供も大人と同様に、皮膚が丈夫になつて風邪も引ずに濟むかといふにこれはさうでない。三歲以前に子供に冷水浴をさせるのは少なくとも我が日本では害がある。これまで私の實驗では皆結果が惡るい。これは我國と西洋との家の構造にもよる事と思ふが、一つは平素に熱い湯に入る癖が皮膚についてゐるために、皮膚が弱くなつてゐるところへ、急に冷水へ入り、又冷水で摩擦されるために、却て風邪にかゝるのであらうと思ふ。

抑も我が國人の入る湯の溫度は私が凡そ百人の大人に就いて實驗したところでは、四十四五度(攝氏)である子供を入れる時はずつとぬるくした積りでも、大人の加減であるから、四十度以下といふ事は少い。これは子供の皮膚としては高すぎる私は思ふ。それ故子供はこの溫度に馴れてゐるところへ、急に冷水へ入れられるので、病氣になるのであらうと思はれる。

咳の豫防は勿論種々な病氣の豫防になるためには、私は子供に入浴をすゝめるのである。然し其溫度をば今よりずつと低くして日向水位ゐに平氣で堪へられるやうな習慣を作りたい。いきなり冷水に入れたり、又平素は熱い湯に入れて、時たま冷水浴をするのは、却て健康に害がある。名を命ければ低溫浴である。然して低溫浴中で子供の身體を平手で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十分に摩擦てやるがよい。子供は非常に喜ぶが上に、健康にもたしかに有益である。
然し忘れてはならぬ、これは豫防法である。一旦病氣になつた曉には前申した通り溫かく而して濕りぽくするがよいのである。藥品には種々あるがこれは略する。醫者でなければ治療の時期や方法を誤まり、とりかへしのつかぬやうになる事があるからである。

冬の子供

冬の遊戯と運動

冬はとかく家の中に引籠りがちになるから、努めて戸外で遊戯、運動をさせるやうに奬めるが大事である。冬は筋肉の鍛錬によい時季であるばかりでなく、筋肉運動は種々な點から衞生上有效である、即ち筋肉の活動により身體の熱の出やうを盛にして身體を自然と溫め、又汗を出す爲には皮膚の新陳代謝を活潑にし、且つ皮膚に血液が多く行きわたる爲め、皮膚の榮養をよくする效がある。又劇しい運動の際は呼吸が活潑となり、その爲に新鮮な空氣を深く吸ひ込むこと丶なり、從つて深呼吸と同じ利益を得、呼吸器粘膜を丈夫にする效がある。又氣をかへ頭腦を休めることにもなる。その他やり方によつては有效な精神修養の一方法である。
幼兒が六七歲以上になれば、戸外に出て溫かい日光を浴びながら遊ばせるも可い。子供の一番喜ぶのは南向きの暖かな日向に砂場を作り、乾いた綺麗な砂を盛り砂いぢりをさせることである。小學兒童からは身體鍛錬の爲に適當な運動競技を奬めてやらせる。戸外の運動遊戲にして一番よいのは、第一に身體各部を滿遍なく一樣に動かすやうなもの、そして危險が少く、興味が多く、手輕に出來るものである。色々な運動の內で手や足だけを使ふといふやうに、運動する部分が一局部に限られたものよりも、身體が滿遍なく動かされるやうなもの丶方がよい。多人

數共同で競爭的に行はせる場合には、面白く愉快に遊ぶ内に、知らず識らず共同の精神、責任義務の考へも（子供にはその理由が明かでなくとも）自然と頭腦に沁み込ませることが出來るし、又忍耐の氣性をも養はせるなど目に見えない利益が多い。

羽根突き、風船突きの遊びは、以上述べた目的に適ふ至極よい運動であると考へる。子供は上を向き、兩手をひろげるので、自然胸廓が廣くなる。又左右をまづ／＼同じ程度に働かせる運動である。（右の手に力を入れて突く場合に左の手で調を取らなければならない關係上、左の手にも力が這入る）その他幼稚園や小學校でやるものは大概よろしい。正月になると夜更かしする機會が多いが、これは幼兒には大層よくないから、子供はなるだけ早く寢かす樣にする。夜は早く寢、朝早く起る習慣をつけるがよい。

子供の部屋

子供の部屋は第一に日の當る南向きものであることが必要である。日の當らない陰氣な部屋にゐると、いつか肺病に取つかれる位の覺悟はしなくてはならない。日光と共に新鮮な空氣は子供に大に必要である。暖い日の當る時には窓や障子を開放ち、日光と新鮮な空氣を室内に入れるが良い。寒い日でも子供のゐない時には開放して空氣を入れ換へる。衣服、玩具、書物類も日光に曝し、又寢具類を日に乾かすやう心掛けたい。これが夜、心地よく眠られ、病氣にならぬ秘訣である。

部屋の暖め方は電氣、瓦斯等の行屆いた暖爐は別として、日本で普通用ゐてゐる炭火は出來る丈け注意が肝要である。燃えたては殊に有害瓦斯が澤山出るから、子供の部屋には眞赤に起り切つた火を用ゐ、空氣が乾き過ぎるから湯を沸かすやうにする。勉强すると頭痛する子供や氣持を惡くする子供は、多くはこの炭火から出る瓦斯の爲にさうなるのである。日本室は割合に換氣が十分であるから、おこりきつた眞赤になつた火を用ゐさへすれば瓦斯中毒を起す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

やうなことはごく少ない。炬燵は子供にひどくいけない。今日理窟の解つた家庭で使ふべきものでない。火の用心が惡く火傷をし、遊惰に流れ又衛生上甚だ良くないものである。（内務省衛生局）

家庭衛生

凍傷の療法

實驗醫報第八年第八十九號の坐談欄に森玄昌氏の書かれた凍傷の療法は至極簡單にして有益な且つどなたにも試みられる方法で少なくとも害のない面白い療法と思ひましたので左に拔萃致しました。

余は數年來凍傷の一療法として（主に第一度第二度凍傷に對して）乾姜を以て溫罨法を施して居るが、この結果は頗る佳良で、第二度の潰瘍を有する者でも、毎夜一時間宛位罨法を行ふときは、二三日に全治するを見る。

乾姜とは姜を切片として乾燥せしめたるものにして何れの藥店にても求め得るものなり。

罨法の方法は先づ乾姜を適宜に白木綿の小袋に入れ一合入り位ゐの茶碗に半分位ゐ水を入れて、袋をひたして火鉢にて適度に溫め、然る後その乾姜を入れたる袋にて凍傷部を罨法するのである。

食事の際に水を飲む可否

昔は食事の時に水を飲むのは、胃液をうすめ、從て消化を妨げるとして嚴しくいましめられたものである。併しその生半可通の理窟である事はとうに看破されたが、この頃又スウザーランドと云ふ人が、水を靜脈內に注入すると、胃液の分泌を增すことを實驗した、これは水が胃液を分泌する細胞の內へ、胃液を製るに必要な成分を血液から早く輸送するやうに促進するからであるといふ、ところがこれは水を直接胃の內へ入れてやつても同樣である。且つ食

物が既に胃内にあるときは一層著じるしい、何となれば、この場合胃液分泌細胞は、その休息して働かぬときよりも一層活潑に反應するからである。こゝを以て食事の三十分乃至二時間前に一杯乃至二杯の水を飲む事は胃液の分泌を促し従て食慾を催進するものであるといふ。

冬仕度（下）

千木庵

衣。衣服だけは、吾々老人にとり日本服が誠に宜しい。最も西洋服も老人の平素著は、左程窮屈でもなく、寒くもなく出來て居る様ではあるが、到底日本服の寛濶にして脱著容易なるには若かずである。殊に冬著になれば幾枚でも重著が出來、又綿入と云ふ獨特の面白い仕立が出來るので、これは拙老も満足致して居る次第である。私なぞは幼少の頃から木綿著で育つて來て居るから、此年になつても綿服で滿足して居るが、絹の綿入ならば一段と快いこと勿論である。

併しこれは吾々老人にとりて便利な都合の好い著物であると云ふだけの事で、決して國民服として日本服が一番良いものとは思はれない。吾々老人の如く最早世の爲に活潑な働も出來ないで、家の内で碌碌として生を貪つてゐる者の爲には一番宜しいと云ふのである。

活潑な立働をする者の爲には、單に暖い、寛濶であると云ふだけでは、良い衣服と云ふわけには行かぬ。ぶら〳〵した袂の附いた綿入の重著と云ふ様な紛装では、到底甲斐〳〵しい働の出來る筈のものでない。特に現代の日本婦人服に至ては、飽迄贅澤な惰弱者の服と云ふより他に仕方がない、家の内の立働にも不都合な服装であるが、一歩戸外に出ては全く紙雛同然で、少しの雨にも堪へない、泥でも著けば、それで廢物になつてしまふ、而かもその裾

は恰も泥に曳く様になつて居る。試みに雨天の際婦人が電車の乗降をする處を一見すれば、日本婦人服は實用上、經濟上、風儀上から見ても今日の世界に於ては全然落第點を附けらるべき服裝であることが解かる。小兒服としても、日本服は運動に便利なものとは云ひかねる。併し近頃幼稚園や小學校に行つて見ると男女兒共に洋服が多くなつたのは、如何にも快活に運動が出來て好いと思はれるが、扨て昨今の各仕度を見ると、窮屈な「メリヤス」や毛絲の「シヤツ」を五六枚も著せた上に前も後も種々の「ボタン」留めにした上著を二枚位著せて居る向きが多い。これでは外觀こそ如何にも輕快に見えるが、實際運動をする點になると、日本服よりも遙かに不自由なものになつて居る。これは大に注意を要する事ではあるまいかと思はれる。愚案としては、支那の貧民服のやうな綿入の洋服に仕立てたならば斯様な缺點を救ふことが出來ようと考へる。斯様な風に小兒服は隨分思切て改良を試みることも敢て困難ではないが、成人の服裝、所謂國民服の改良と云ふことになると實に困難な事で、これは到底一朝一夕にして改められるものではない。前にも言ふ通り斯様な風俗になつて居るのは永い歴史沿革があることで、兎も角もこの國土に適當した文化的産物であつたのであるから、これを改めるのには家屋の構造から履物、其他種々の物迄も共に改める必要が生じて來て、殆ど實行が出來ないものである。さらばと云ふて一方に於ては文化は遠慮なく便利な方へ、經濟な方へ、衛生的の方へと世界の粋を拔き優を追ふて進むで行く。こゝに至つて矢張遺憾ながら我邦の文明は、全く行詰つた文明で、止まらんとするも止まれず、進まんとするも進まれずと云ふ有様で、衣服問題の如きも全く混亂の狀態である。そこで、これは如何にしたものかと言はれると、愚老の如きは、例の過劇論者と云はれるかは知らぬが、理窟は別として、一言に云へば先づ以て悉く洋服に改めよ、無理にも洋服にしてしまへと云ふのである。實際無理にも一旦洋

服に改めて見れば、そこで初めて何處が今日の日本に不適當であるかと云ふことが解かる。そこに至て漸く改良と云ふことにも著手されようが、現在の日本服を飽迄固執して、それを僅づゝ袖だとか帶だとか云ふて變な小細工をして見た所で何となるものではない。併しこの議論を本式にやることになると、拙者にも相當の根柢があるのであるから一寸貴下の雜誌には迷惑になる位の紙數を潰さねばならぬので遠慮をする。唯いづれにしても現代の日本服は思切つて改良せなければならぬ品物であると云ふことだけを斷言して置くに止める。

その改良と云ふことに就ては、何れの點に目をつけて改良に著手すべきかとなると、是亦なか／＼大きな問題ではあるが、第一に考へなければならぬのは何と云ふても衞生上の關係である。衣服本來の目的は體溫の調節といふことにある。ルブチルと云ふ先生は衣服は吾人身體の氣候であるといふた通り外界の氣溫、濕度等の感作に對して體溫を調節して、皮膚と外界との間に適當の氣候を造るもので、これが吾人の生活習慣に頗る重大なる關係を呈してゐるのである。これに由て吾々が快く仕事を仕樣といふ氣にもなれば、厭にもなる。從て仕事の能率の上に大なる影響を及ぼすものである。各人の能率の些些たる相異も一國民の總和に至ては實に莫大なるもので、正にその貧富强弱の差をなす所以である。

細かしい理窟は措て、實際著心地の惡い衣服を著て仕事をする時には、仕事が捗どらない、早く疲勞する、特に直接氣分に關係のあるのは襯衣で、我邦の絹織物が歐米諸國に盛に輸出せられるのも、これを心理的に觀察すれば、專ら皮膚に快いからと云ふに歸する。保溫と云ふ點に就て云へば、衣服の中に含まれる空氣の量に關することで、動物の毛衣が一番理想的である。研究した所に依ると動物の毛皮は九七%は空氣で僅に三%だけが毛であると云ふ。人工的の人間の衣服でも極上等のものになると八〇乃至八五%迄空氣を含むと云ふことである。西洋では、

陰氣な氣分を拂ひのけるには、著物を著更へるのが一番簡便法であると云ふて居るが、如何にも左樣である。美しい著物を著ると美人になつた樣な氣がし、晴著を著るとお祭氣分になるものである。

斯樣に衣服と云ふものは、衞生上、經濟上竝に道義の上に迄も重大の影響を及ぼすものであるから、是等の諸點に目をつけて改良を企てることが肝要である。

最後に食物に對する老人の不平を少しく述べる順序であるが、これは餘り罰が當りさうな氣がするので、此度はこれで遠慮して、も少し長生でもしたならば、改めて惡まれ口をたゝくことにしよう。

雜報

○乳幼兒取扱講習會

內務省にては乳幼兒死亡率の高きを憂ひ、日本全國の衞生官、產婆、女子師範生徒等に對し乳兒及び妊產婦の取扱方竝に發育、疾病に關する理論の一般を敎授するの目的にて來る三月二十二日より三十日迄九日間內務省、東大、慶大醫學部を會場として大規模の講習會を開くと云ふ。

○子福者保護請願

東京市外巢鴨町私立帝國小學校長西山哲治氏主唱の下に子福者保護に關し、本議會に提出する計畫は、吉田熊次博士、留岡幸助氏、岸邊福雄氏、宮田修氏其他五百五十五名の連署を以て一月二十日代議士大津淳一郞氏の紹介にて衆議院へ提出されたるが其の

請願事項は次の四なり。

一、三人以上子供のある所謂子福者に對しては勤勞に依る所得税を免じ、又時宜により女中費用及敎養を補助して戴きたい。

二、三人以上子供のある者には子寶勳章を授け、子福者の父死亡し遺産少なき時は其年金を以て子供の敎養費を補助して戴きたい。

三、子供の敎養に關し國民敎育を完備し、小兒公園、低能兒、白痴敎育所、託兒所、感化院、小兒養育院、學費無料學校、小兒科及産科施療院等を設けて戴きたい。

四、三項の實施に就いて財源の必要あらば子供なき相當生活者より子無税を徴し或は相當收入ある獨身者より獨身税、離婚の罰金等年額一億萬圓内外を徴されたい。

五、前四項の速かに實現せられますやう關係官廳に對して促進して戴きたい。

○生活改善協議會

大阪市社會敎育部主催にて給職生活改善の第二部協議會を開き家庭に於ける左の改善事項を協議したり

家庭改良

一、家庭は常に清淨和樂を保持すること

二、朝夕二回少くも每朝家風に應じて精神の修養をなすこと

三、夫婦は互に職業思想趣味を了解し同化するよう務むること

四、衣食住の權衡を保持するやう心懸くること

五、家庭暦(年中行事每月每週每日の豫定表)家具衣類の目錄獻立表等を作り日常生活を規則的にすること

六、主婦は成るべく文明の利器を利用し時間と勞力を省き以て講演會展覽會等に出席し又努めて讀書し時勢に遲れざるやう心懸くること

七、育兒裁縫料理洗濯等總て家政上に關し出來得る限り其法を研究し漸次之を公く發表すること

八、家庭には必ず內外兩種の地圖を備へ地理上の知識竝に國際思想の涵養に努むること

九、臺所に時計、計量器を備へ置くこと

十、家庭に應じたる娛樂及運動具を備へ成るべく家族一同の娛樂を主とすること

十一、音樂文藝繪畫等によりて趣味ある家庭となすべきこと

十二、子女には成るべく自治の習慣を養ふこと

十三、部屋の割當庭園等を子供本位とすること

十四、子供の前には話題を愼しむべきこと

十五、從來の客室に對すると同樣の注意にて臺所及厠に清潔を保つべきこと

十六、使用人に對しては同情を旨とし禮儀を失はざる限り家族と同樣に待遇すること

十七、言語の矯正に注意し稱呼を適當に指導すること

備考

七、の漸次之を公く發表すると云ふこと

一人宛研究したることを三人五人と互に話し合ひ段々に公く發表すると云ふ意味

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十七、の稱呼を適當に指導すると云ふは例へば
自分の父母のことを他人に對しておとうさん、おかあさんと云ひて話すことをちゝ、はゝと云ふやうにいはせるやう小學校の五六年位より敎へたいと云ふことでございます

被服に關する改善事項

一、衛生的にして活動に便なる樣に考案すること
二、數多の衣服を空しく簞笥の底に寢させざること
三、價ひの高きよりも調和よきものを選ぶこと
四、流行に支配せられず其の身に相應しき柄合色合等を選ぶこと
五、男子服は洋服を主として隱居服平常着寢衣浴衣等は在來の儘とすること
六、子供服は男女共速かに洋服にすること
七、女子の服裝は左の通り改善し尙優美性を考慮すること
(イ)老人を除く外は漸次袷主義とし小袖重れ物を全廢して胴着其他にて調節すること
(ロ)ツロース其他股引等を着用すること
說明　小兒胃腸病及婦人病の根源たる下部冷却を防ぎ且つ風儀上にもよし
(ハ)帶幅を狹くして胸部を壓せざる樣にし且つ仕立方も改良する事
尙組を減じてピン、ホック並にボタン等にて代用すること
(ニ)立動の節は上張着用のこと
(ホ)夏羽織は若き者に於ては廢すること
(ヘ)コート、ショール及洋傘は實用を主として選擇すること
(ト)夏の長襦袢は袖を輪にし可成半襦袢と裾除との二部に分つこと
(チ)式服に模樣無紋附を着用するも妨げ無きこと

○女敎員産前後の休養

女敎員産前産後の休養は、文部省特別委員會に於て産前二週間、産後五週間と決定せられ、近く省令として公布せらるゝ筈なり。

○「お産の前後」複製

曩に內務省衛生局調査課にて編纂し貰く各方面に配布したる磐瀨博士執筆に係る「お産の前後」は其後各府縣、市町村、學校を初め醫師會赤十字支部愛國婦人會及び各敎育會等の團體より複製希望の申込ありて、既に十五萬餘部に及びしを以て同課にては印刷所に對して仲介の勞を執れる由。

○運動體育展覽會

一般國民殊に家庭に運動體育を奬勵する目的にて來る四月三十日より一箇月間お茶の水敎育博物館內に運動體育展覽會を開催さるゝことゝなれり、出品申込は來月二十日なりと。

會報

○一月例會

一月十四日(第二土曜日)午後一時半より神田區一ツ橋通町共立女子職業學校に於て婦人修養俱樂部と合同にて新年初例會を開く、男爵目賀田種太郎氏の外國婦人の生活に關する講話あり、餘興として鳩山千代子夫人の獨唱、瀨川よし子夫人の伴奏、坂本富岳の講談等ありたり、會するもの數百盛會なりき、當日の出席役員左の如くなりき。

濱尾作子　鳩山春子　長谷川仲子
岡田德子　高木鉌子　天野た喜子
三浦敎子　吉岡彌生子　丹波貞子
高橋孝子　古市幸子　近藤憲子
相磯正子　瀨川さわ子

○新潟の新年祝賀會

新潟婦人衛生會にては一月二十九日午前十一時より三婦人會合同にて新年祝賀會を新潟尋常高等小學校にて開催、華房高等女學校長、本支會顧問高橋辰五郎氏、縣衛生會主事關井常彌氏外各新聞記者等數十名の來賓あり、一般來會者には和田內務部長夫人を初め市內各階級の夫人令孃等約百名に達し、高田セン子會長の開會の辭、次に華房校長の講演、高橋顧問の演説等あり中食後餘興として三遊亭圓遊の落語百面相、京山圓吉の浪花節あり、最後に福引にて各自十二分の歡を盡して盛會裡に散會せるは午後四時なりき。

私立大日本婦人衛生會役員氏名

總裁　東伏見宮妃周子殿下

會長　侯爵夫人　鍋島榮子

副會長　子爵夫人　濱尾作子

（いろは順）

理事　鳩山春子　同　長谷川仲子

同　岡田德子　同　高木鏘子

同　山口貞子　同　天野多喜子

同　三浦政子

評議員　入澤常子　同　羽田三緒子

同　服部繁子　同　原　光子

同　子爵母堂　仁禮壽賀子　同　土肥多越子

同　緒方悅子　同　岡山とし子

同　小川孝子　同　男爵母堂　加藤鈴子

同　片山鶴子　同　吉岡彌生子

同　丹波貞子　同　高橋孝子

同　男爵夫人　南部限子　同　中濱芳子

同　松平芳子　同　子爵母堂　松井正子

同　男爵夫人　古市幸子　同　近藤憲子

同　相磯まさ子　同　男爵母堂　青山孝子

同　岸　澄子　同　菊池峯子

同　宮本樂子　同　三宅藤子

同　守屋千代子　同　瀬川さわ子

大正十一年二月二十五日印刷

大正十一年二月二十八日發行

東京市本郷區駒込千駄木町五十八番地

編輯者兼發行者　莊司秋次郎

東京市本郷區駒込林町百七十二番地

印刷者　柴山則常

東京市本郷區駒込林町百七十二番地

印刷所　合資會社　杏林舍

東京市本郷區駒込千駄木町五十番地

發行所　私立大日本婦人衛生會事務所

（振替東京一〇六〇〇番）

賣捌所

東京市本郷區龍岡町　吐鳳堂

同市銀座三丁目　東海堂

同市京橋區鎗屋町　良明堂

同市同區龍岡町　南江堂支店

同市芝區愛宕町　明文館

京都市寺町二條南入　若林茂一郎

東京京橋元數寄屋町　北隆館

同市神田區表神保町　東京堂

同市本郷區本富士町　盛春堂

名古屋市榮町六丁目　丸善書店

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

陣痛催進劑 ピツイトリン

ピツイトリンの產婦人科領域に於ける聲價は眞に隆々たり。之蓋、本品は子宮に作用して之を收縮せしめ、而も他の子宮緊縮藥に於けるが如く、其性質强直性ならず、〇・五乃至一・〇ccの注射により、能く速に陣痛强盛を來して、產期を短縮せしむる效果、顯著確實なればなり。

ピツイトリンは又强心、止血、利尿の作用ありて種々なる內科的疾患に試みられつゝあり。

【文獻集あり御申越次第進呈す】

硝子球　一cc入
三管壹箱

姙娠惡阻特效藥 ユゴール

ユゴールはドクトル飯田左三先生の發見せられたる惡阻の治療藥にして、多數實驗家の臨牀成績は姙娠惡阻に對し、顯著確實の奏效を示したるのみならず一般諸種の嘔吐患者に對しても亦用ふるに足る藥劑なるを明にせり、而してユゴールは些の副作用なく、之れが應用は何等の不安、何等の顧慮をも要せずと稱せらる。

【文獻御申越次第進呈】

◆實品種類◆

注射用ユゴール
一cc硝球十管入
內用ユゴール
錠劑（〇・三五）五十錠入
同百錠入

本社　東京室町
發賣元　三共株式會社
出張所　大阪淡路町　臺北府後街